平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名　ダイソー株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4046　URL　http://www.daiso.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長執行役員　(氏名) 佐藤　存
問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部長　(氏名) 多木　宏行　TEL 06-6110-1560

四半期報告書提出予定日　平成25年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	22,431	7.5	1,230	13.1	1,472	29.7	877	29.6
25年3月期第1四半期	20,867	△9.7	1,087	△13.6	1,135	△15.7	677	△13.8

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　978百万円　(402.4%)　25年3月期第1四半期　194百万円　(△74.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	8.33	―
25年3月期第1四半期	6.43	6.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	79,933	38,832	48.6
25年3月期	76,804	38,246	49.7

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　38,818百万円　25年3月期　38,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	3.50	―	3.50	7.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		3.50	―	3.50	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	43,000	5.8	2,150	1.1	2,250	4.3	1,285	20.2	12.20
通期	90,000	8.2	5,000	10.2	5,200	3.5	3,000	3.9	28.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	111,771,671 株	25年3月期	111,771,671 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	6,439,798 株	25年3月期	6,437,703 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	105,333,254 株	25年3月期1Q	105,402,251 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

(1)　経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
(2)　財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・３

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・３

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・３
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・３
(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・３

３．四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

(1)　四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・６
(3)　四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・８
（継続企業の前提に関する注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・・・・・・８
（セグメント情報等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済対策などにより景気持ち直しの動きが見られましたものの、為替の変動や原燃料価格の上昇などもあり景気回復感は限定的であり先行き不安定な状況で推移いたしました。

このような状況下で、当社グループは、コア事業の強化に注力するとともに海外拠点との連携強化によりグローバル市場でのシェアアップを図ってまいりました。また、原燃料価格上昇への抜本的対策として生産・調達コスト低減投資を実施するとともに、経費削減にも取り組んでまいりました。

基礎化学品では、エピクロルヒドリンは、土木接着剤用途が堅調に推移しましたが、電子材料向けの販売が減少し、売上高が減少いたしました。一方、クロール・アルカリについては、需要の回復が遅れており、売上高が横ばいとなりました。

機能化学品では、ダップ樹脂は中国向けが減少しましたが、ＵＶインキ用途向けが堅調に推移し、売上高が微増となりました。また、液体クロマトグラフィー用シリカゲルは、医薬品精製用途向けの需要が好調に推移し、売上高が大幅に増加いたしました。さらに、医薬品原薬・中間体については、抗ウイルス薬中間体、筋疾患治療薬原薬および抗癌剤中間体などは売上高が増加いたしました。一方、アリルエーテル類は、中国の景気減速により販売数量が低調に推移し、売上高が減少いたしました。また、エピクロルヒドリンゴムは、自動車用途向けは堅調に推移しましたが、ＯＡ機器用途向けが低調に推移いたしました。

住宅設備ほかでは、化粧板などのダップ加工材が堅調に推移するとともに、住宅関連商品が好調に推移し、売上高が増加いたしました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は、224億３千１百万円と前年同期比7.5%増加いたしました。利益面においては、営業利益は、12億３千万円と前年同期比13.1%の増加、経常利益は、為替差損益の影響もあり14億７千２百万円と前年同期比29.7%の増加、四半期純利益は、８億７千７百万円と前年同期比29.6%の増加となりました。

(2)　財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、4.8%増加し435億４千９百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が20億４千４百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、3.2%増加し363億８千４百万円となりました。これは、主として建設仮勘定が14億３千１百万円増加したことによります。

この結果、当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、4.1%増加し799億３千３百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、8.6%増加し344億９千８百万円となりました。これは、主として、短期借入金が20億円増加、支払手形及び買掛金が８億２千６百万円増加したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、3.0%減少し66億２百万円となりました。これは、主として長期借入金が２億２千万円減少したことによります。

この結果、当第１四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、6.6%増加し411億１百万円となりました。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、1.5%増加し388億３千２百万円となりました。

(3)　連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想につきましては、平成25年５月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,934	5,373
受取手形及び売掛金	25,463	27,508
商品及び製品	5,850	6,673
仕掛品	957	933
原材料及び貯蔵品	2,202	2,121
その他	1,150	943
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	41,555	43,549
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	7,051	6,794
その他（純額）	13,732	15,081
有形固定資産合計	20,784	21,875
無形固定資産		
のれん	1,165	1,133
その他	82	75
無形固定資産合計	1,248	1,208
投資その他の資産		
投資有価証券	11,565	11,669
その他	1,659	1,638
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	13,215	13,299
固定資産合計	35,248	36,384
資産合計	76,804	79,933

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,456	14,283
短期借入金	9,730	11,730
1年内返済予定の長期借入金	1,025	980
未払金	4,035	4,026
未払法人税等	785	368
賞与引当金	703	354
その他	2,017	2,756
流動負債合計	31,753	34,498
固定負債		
長期借入金	3,260	3,040
退職給付引当金	2,366	2,375
役員退職慰労引当金	568	544
その他	609	642
固定負債合計	6,804	6,602
負債合計	38,558	41,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,882	10,882
資本剰余金	9,394	9,394
利益剰余金	17,074	17,583
自己株式	△1,668	△1,669
株主資本合計	35,682	36,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,527	2,591
繰延ヘッジ損益	△1	35
その他の包括利益累計額合計	2,526	2,627
新株予約権	37	14
純資産合計	38,246	38,832
負債純資産合計	76,804	79,933

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	20,867	22,431
売上原価	17,428	18,812
売上総利益	3,439	3,619
販売費及び一般管理費	2,351	2,389
営業利益	1,087	1,230
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	132	143
為替差益	－	96
その他	19	26
営業外収益合計	156	268
営業外費用		
支払利息	20	24
為替差損	81	－
その他	7	1
営業外費用合計	109	26
経常利益	1,135	1,472
特別利益		
固定資産売却益	0	－
新株予約権戻入益	29	22
特別利益合計	29	22
特別損失		
固定資産除却損	77	99
特別損失合計	77	99
税金等調整前四半期純利益	1,088	1,396
法人税、住民税及び事業税	240	360
法人税等調整額	170	157
法人税等合計	410	518
四半期純利益	677	877

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
四半期純利益	677	877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△482	63
繰延ヘッジ損益	0	36
その他の包括利益合計	△482	100
四半期包括利益	194	978
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	194	978
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
売上高						
外部顧客への売上高	9,804	6,387	4,675	20,867	－	20,867
セグメント間の内部売上高又は振替高	24	0	77	103	△103	－
計	9,829	6,388	4,753	20,970	△103	20,867
セグメント利益	738	608	46	1,393	△305	1,087

（注）１　セグメント利益の調整額△305百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３　従来、親会社は機械装置のうち有機関係設備の主要部分と研究開発設備、子会社は一部の有形固定資産について、それぞれ定率法を採用しておりましたが、第１四半期連結会計期間より定額法に変更し、全ての有形固定資産について定額法を採用しております。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、セグメント利益は、基礎化学品において11百万円、機能化学品において86百万円、住宅設備ほかにおいて０百万円それぞれ増加し、調整額（全社費用）は４百万円減少しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
売上高						
外部顧客への売上高	9,910	7,224	5,295	22,431	－	22,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	1	262	267	△267	－
計	9,914	7,225	5,558	22,698	△267	22,431
セグメント利益	430	1,035	60	1,526	△296	1,230

（注）１　セグメント利益の調整額△296百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。